

## 1. 公園実施設計

## (1) 活動拠点施設

## 1) 基本計画からの経緯

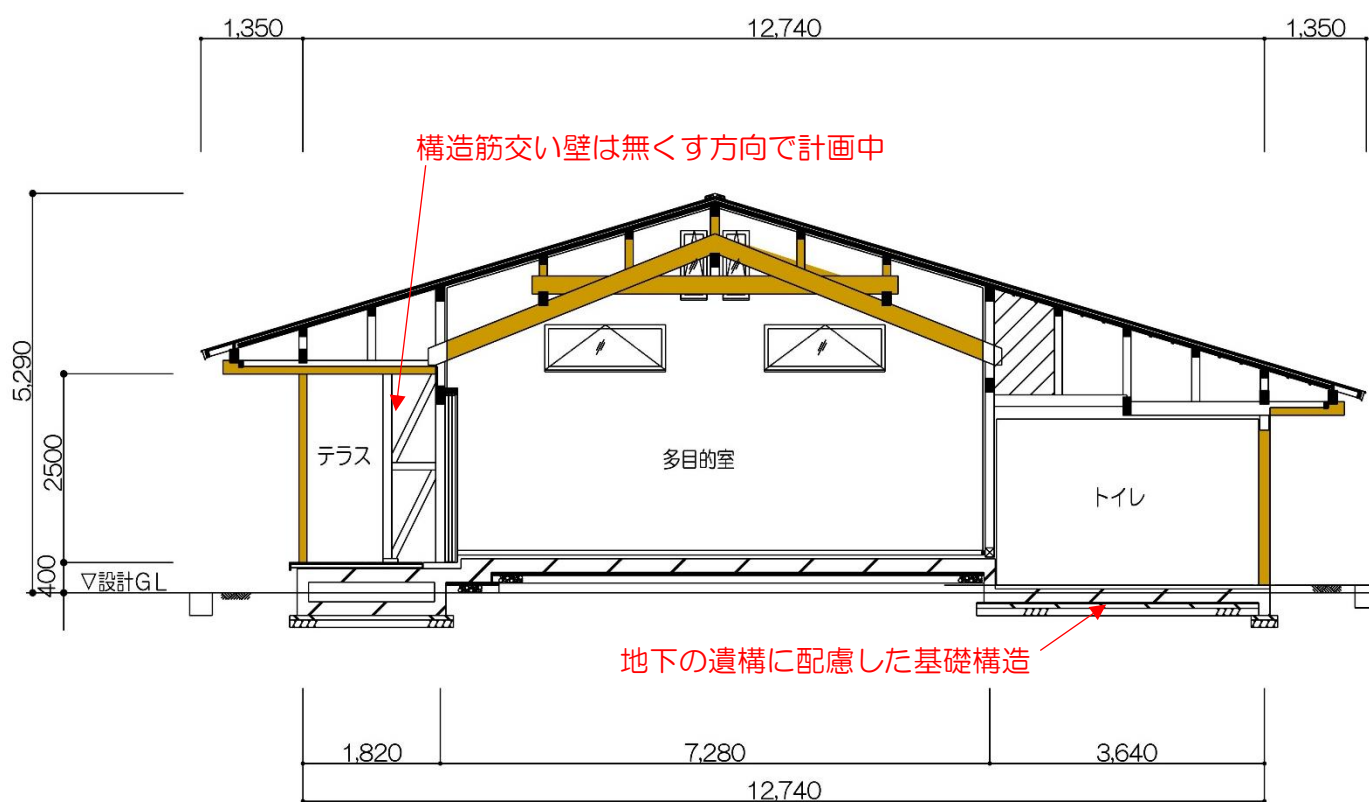
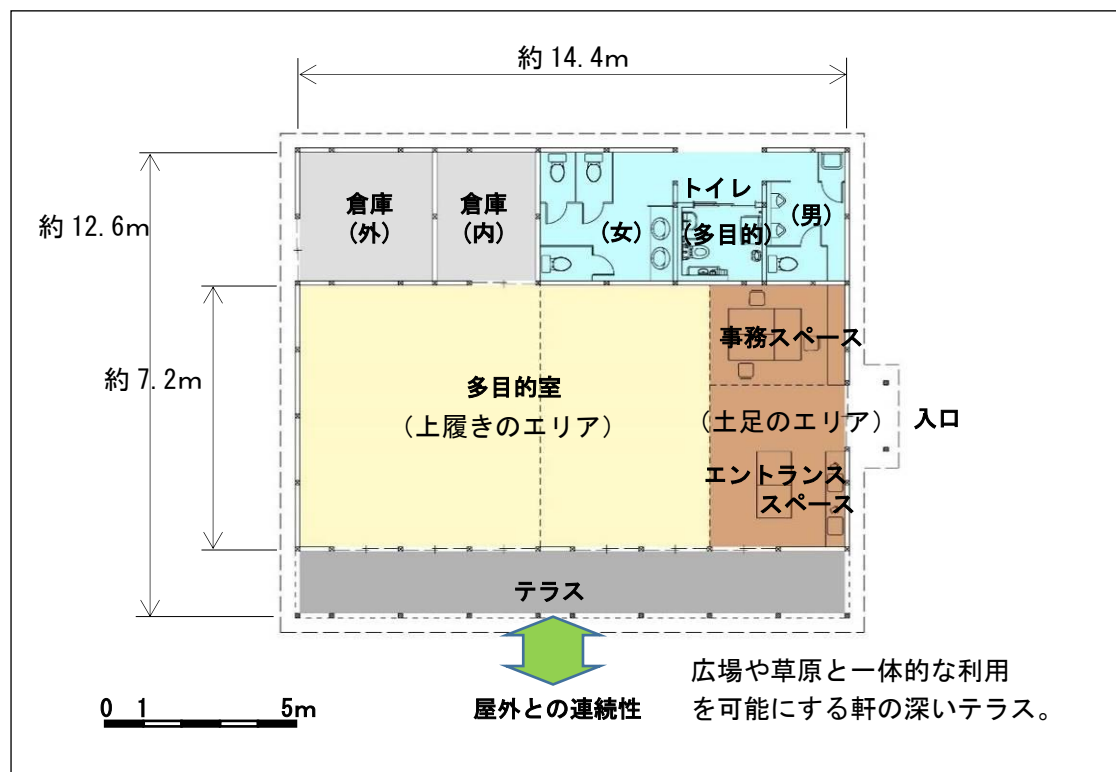
項目	基本計画 (R2 年度)	実施設計 (R3 年度)	備考	
基本仕様	<p>利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な利用規模や利用形態に対応し、屋外との一体利用が可能なフレキシブルな形態とする。</li> </ul> <p>規模 延床面積：約 180 m<sup>2</sup> 構造 木造又は軽量鉄骨造</p> <p>意匠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里山自然公園の緑が豊かな環境に馴染む建築デザインとする。</li> <li>木や土などの自然素材を用いた建築とする。</li> </ul>	<p>利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多目的室とテラス、屋外との連続性を確保した。</li> </ul> <p>規模 延床面積：185.49 m<sup>2</sup> 構造 木造</p> <p>意匠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柱や梁などに木(いすもく)を使用し、できる限り木を感じられる仕上げとする。ただし、外壁については耐久性、対候性が求められるためサイディング貼りとした。</li> </ul>	<p>※構造的に必要なが懸念されたテラスの筋交い壁については、出来る限り無くす方向で梁の構造を計画中です。</p> <p>※地下遺構への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>確認された地下遺構の保存に配慮した基礎構造とした。</li> </ul> <p>※外壁のサイディングについては、濃い茶系色の板目調を候補としている。</p>	
各室等の仕様	多目的室	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングやレクチャー、講習会、各種プログラム等、様々な利用に対応する。</li> <li>小学校3クラスが(室内：2クラス)、(屋外：1クラス)に分かれて利用すると想定する。</li> <li>雨宿りや休憩等についてはテラスを含めた拠点施設全体で対応する。</li> </ul> <p>※土足利用を基本と考えるが、活動内容や利用形態とともに継続して検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造：木の良さが感じられるように、柱、梁を活かした仕上げとした。</li> <li>多目的室床：ビニルタイル貼り</li> <li>壁面に多目的ボードを設置した。</li> </ul>	<p>※和泉市産の木材(いすもく)を使用する。</p> <p>※多目的室の利用は土足を基本とする。</p>
	エントランススペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>本公園の各種案内を行うスペース。</li> <li>草木染や食のプログラム、イベント時には炊事などに対応するためのキッチンを設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キッチンを設置した。</li> </ul>	
	事務スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園の運営管理事務等を行うスペース。</li> <li>事務員は運営体制等によるため未定であるが、1～3人程度を想定。</li> <li>打合せ時は間仕切りを用いて対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンターでスペースを確保した。</li> </ul>	
	テラス	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋内空間を補完し休憩や雨宿りに利用できる軒下等の半屋外的なスペース。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐久性に配慮した再生木を使用した。</li> </ul>	<p>※テラスは軒柱の先30cmまで伸ばす方向で計画中です。</p>
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女のブースと身障者に対応できるブースを用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多目的トイレにオストメイト、ベビーチェアを配置した。</li> </ul>	
	倉庫(内利用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動用の機材や材料を収納する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋内使いの倉庫を2部屋とし収納を拡大した。 約10m<sup>2</sup>→約20m<sup>2</sup></li> </ul>	
	倉庫(外利用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>草刈り機、チェーンソー等の機材や、燃料、角材等の資材等を収納する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外に物置を設置した。</li> </ul>	
	収納スペース		<ul style="list-style-type: none"> <li>天井裏を利用した収納スペースを追加した。</li> </ul>	
手洗い・洗い場	<p>※手洗い・足洗場の設置を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外に手洗と洗い場を設置した。</li> </ul>		

## 2) 活動拠点施設実施設計図

### ■計画の方針（昨年度までの基本方針を踏襲）

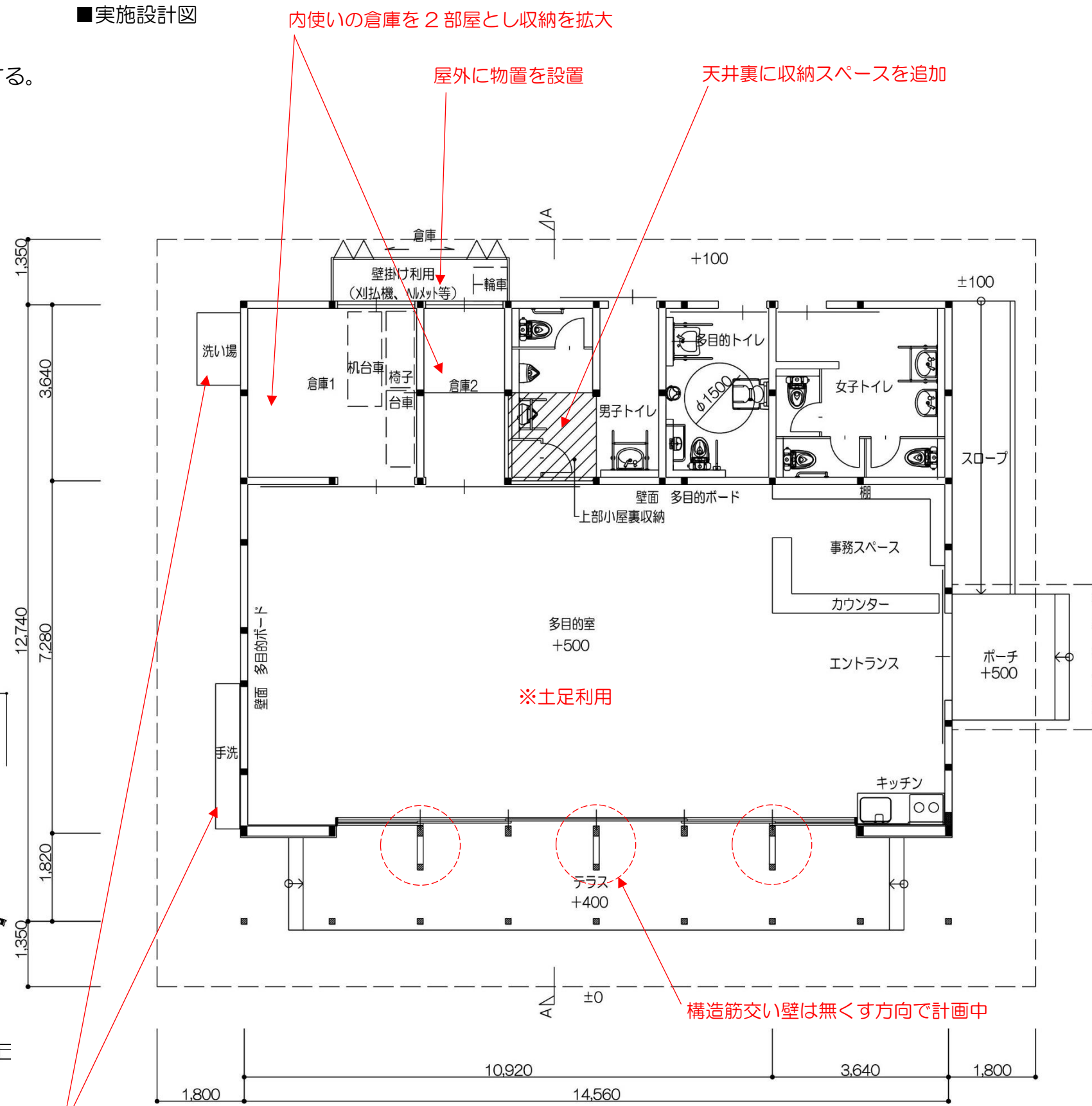
- 多目的室、事務スペース、エントランススペースは一つの大きな部屋の中に配置する。
- 多目的室は可動式の間仕切りで部屋の大きさを変化させて、多様な規模の利用に対応する。
- 軒の深いテラスが多目的室（屋内）と草原や広場（屋外）に連続性を持たせる。

[基本計画平面図 S=1:200]

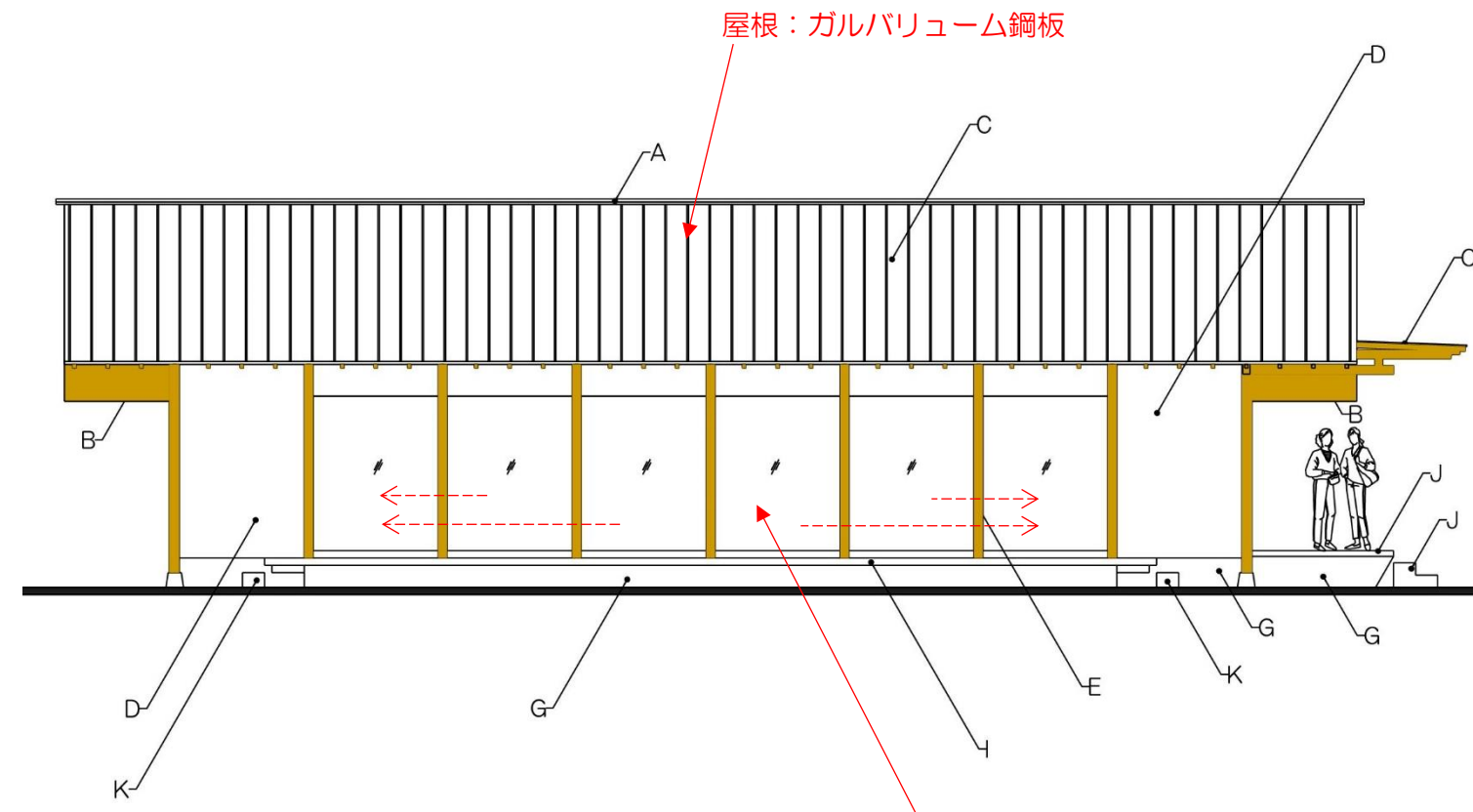


[A-A断面図 S=1:100]

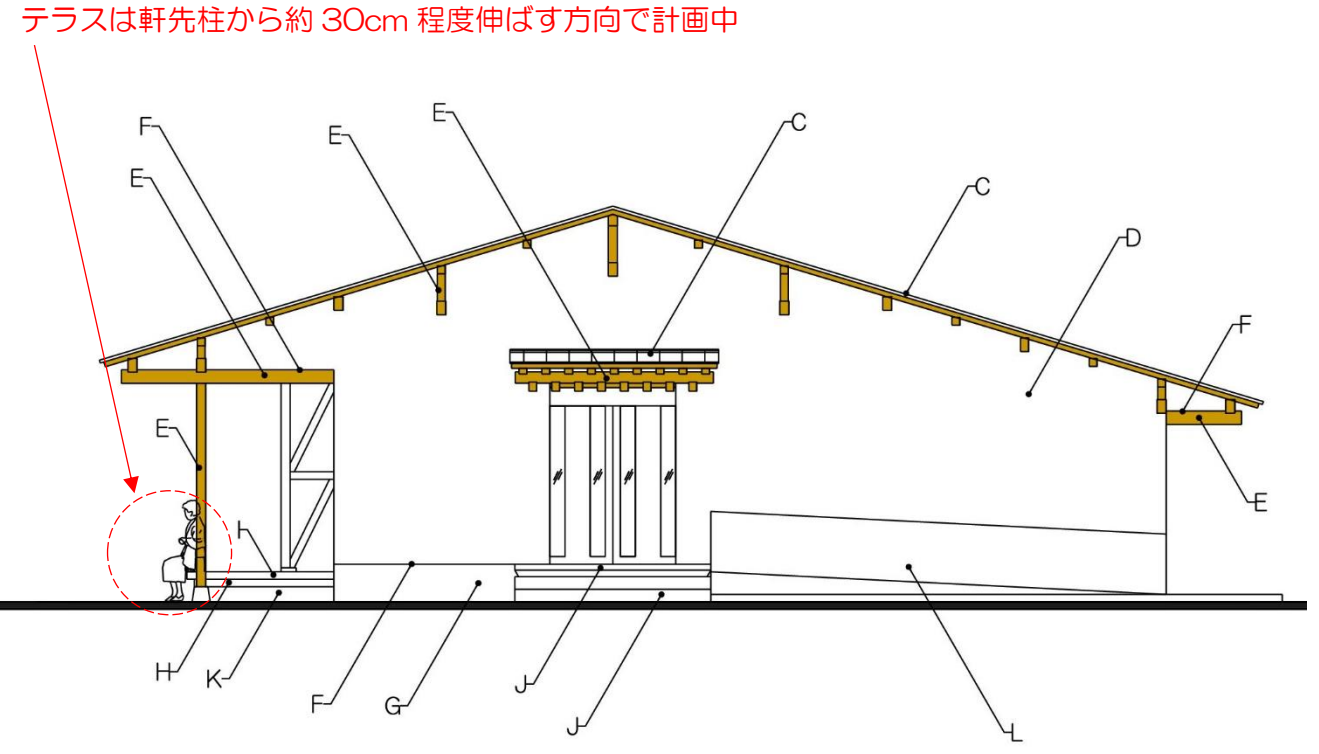
### ■実施設計図



[平面図 S=1:100]

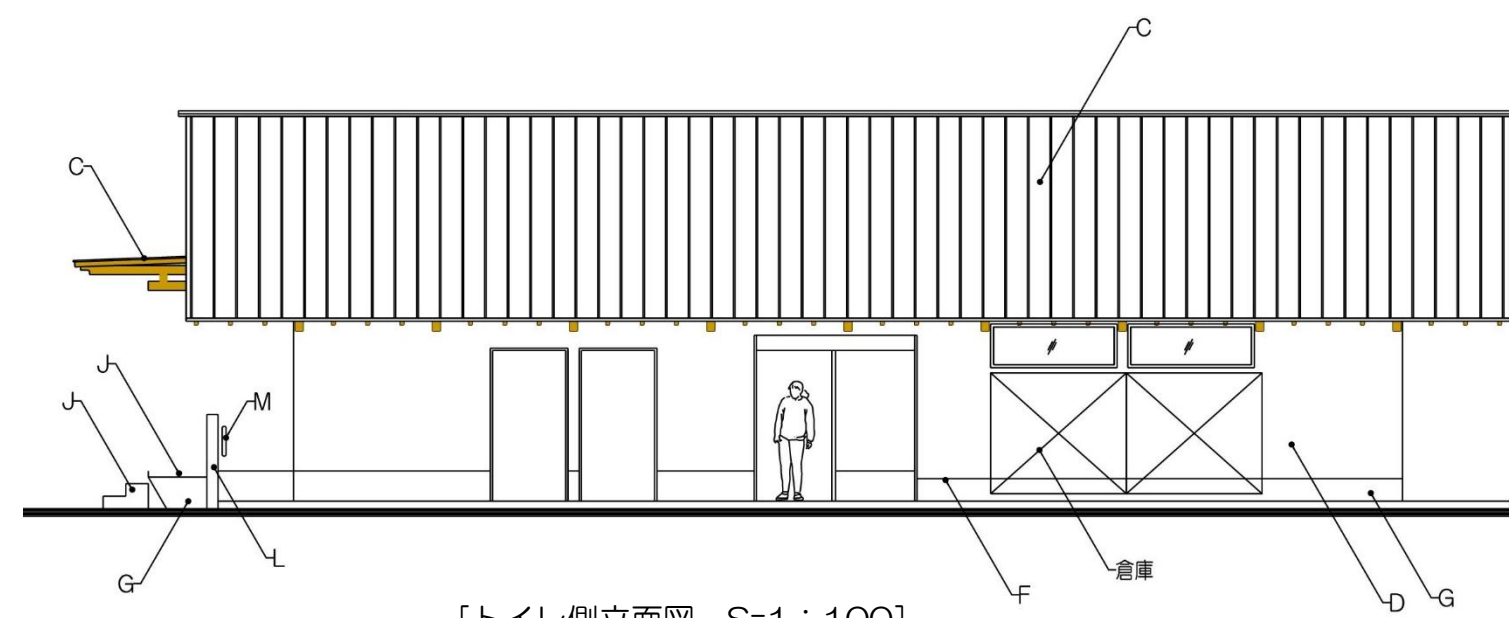


[広場側立面図 S=1:100]

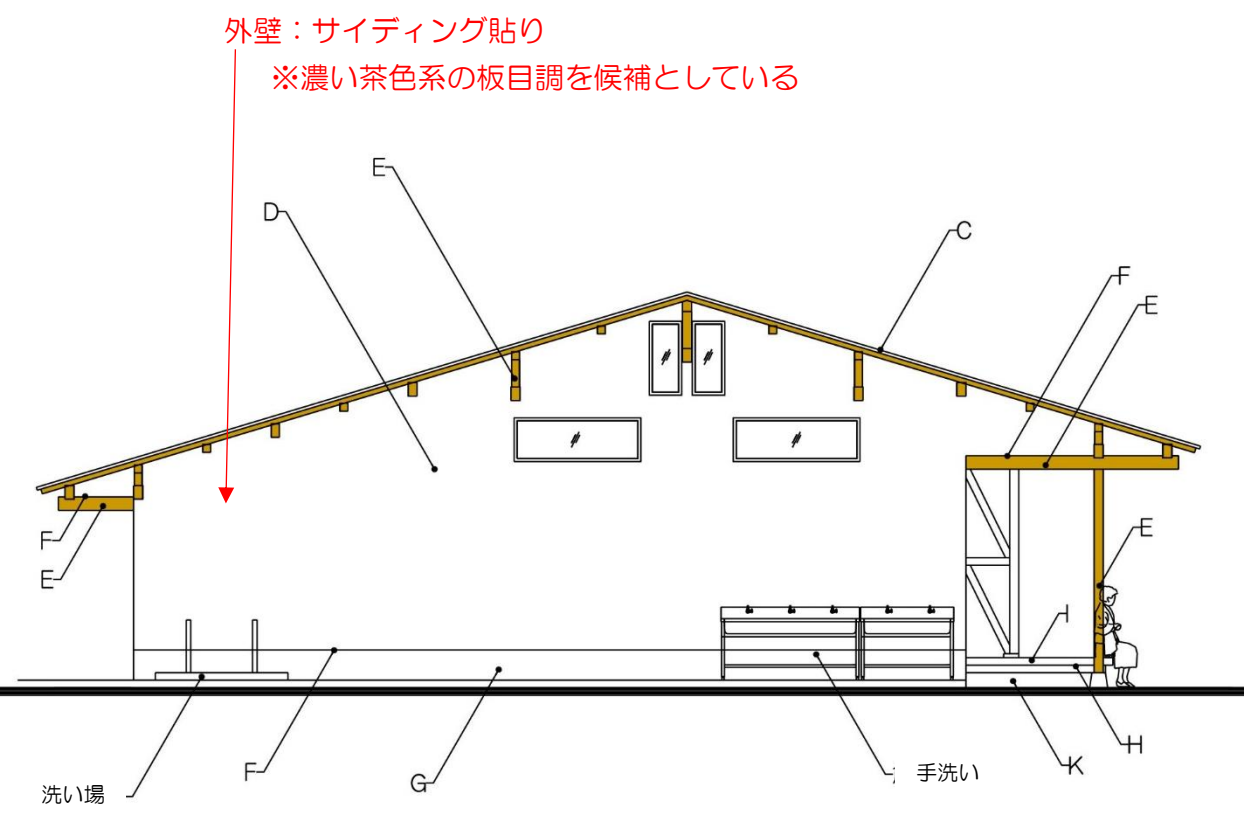


[入口側立面図 S=1:100]

多目的室とテラス、屋外との連続性に配慮した大扉



[トイレ側立面図 S=1:100]



[妻側立面図 S=1:100]

- 凡 例
- |                                     |                           |
|-------------------------------------|---------------------------|
| A.....棟包：ガルバリウム鋼板厚0.5               | H.....スラブ：コンクリート打放仕上      |
| B.....化粧野地板：木製縁甲板 木材保護着色オイル塗        | I.....デッキ：人工木材            |
| C.....屋根：ガルバリウム鋼板厚0.5瓦棒葺            | J.....ポーチ、階段：タイル貼         |
| D.....外壁：窯業系サイディング貼                 | K.....沓脱：コンクリート打放仕上       |
| E.....木部：木材保護着色塗料塗 (WP)             | L.....スロープ立上り：コンクリート打放仕上  |
| F.....腰水切：ガルバリウム鋼板厚0.5 (換気水切) (既製品) | M.....スロープ手摺：ステンレス製 (既製品) |
| G.....腰：コンクリート打放仕上 A種 フッ素樹脂クリア塗装    |                           |

[拠点施設周辺外構計画平面図 S=1:250]



## (2) トイレ棟

### 1) 基本計画からの経緯

※基本計画 (R3) の方針を踏襲

#### 規模

- 公園の小規模なトイレの標準的規模とする。

#### 構造

- RC造+木造

#### 設備

- 汚水排水は汲み取り式とする。

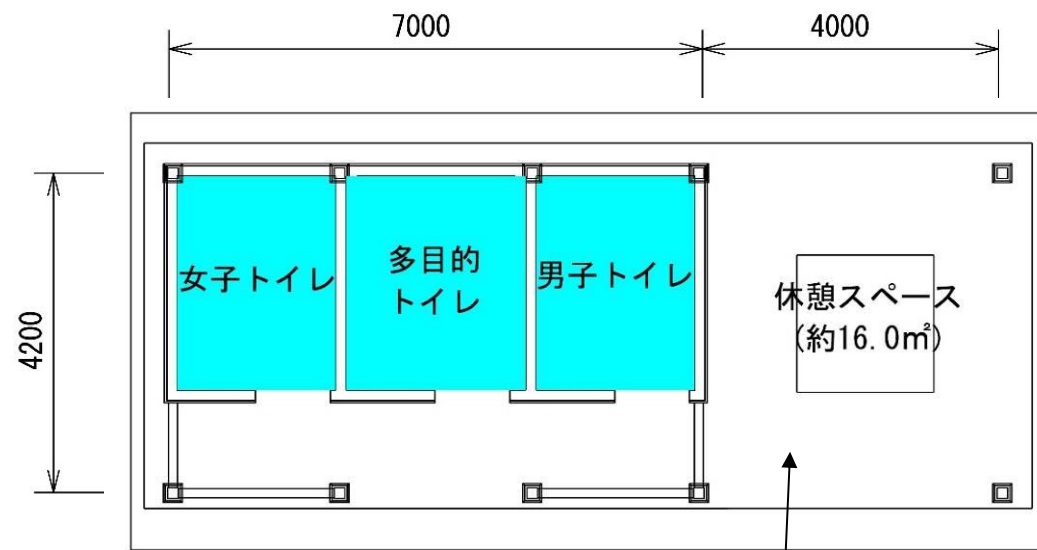
#### 意匠

- 周囲の環境に馴染む木造風の建築デザインとする。

#### 防虫対策

- 入口に扉を、軒裏などには防虫網を取り付ける。

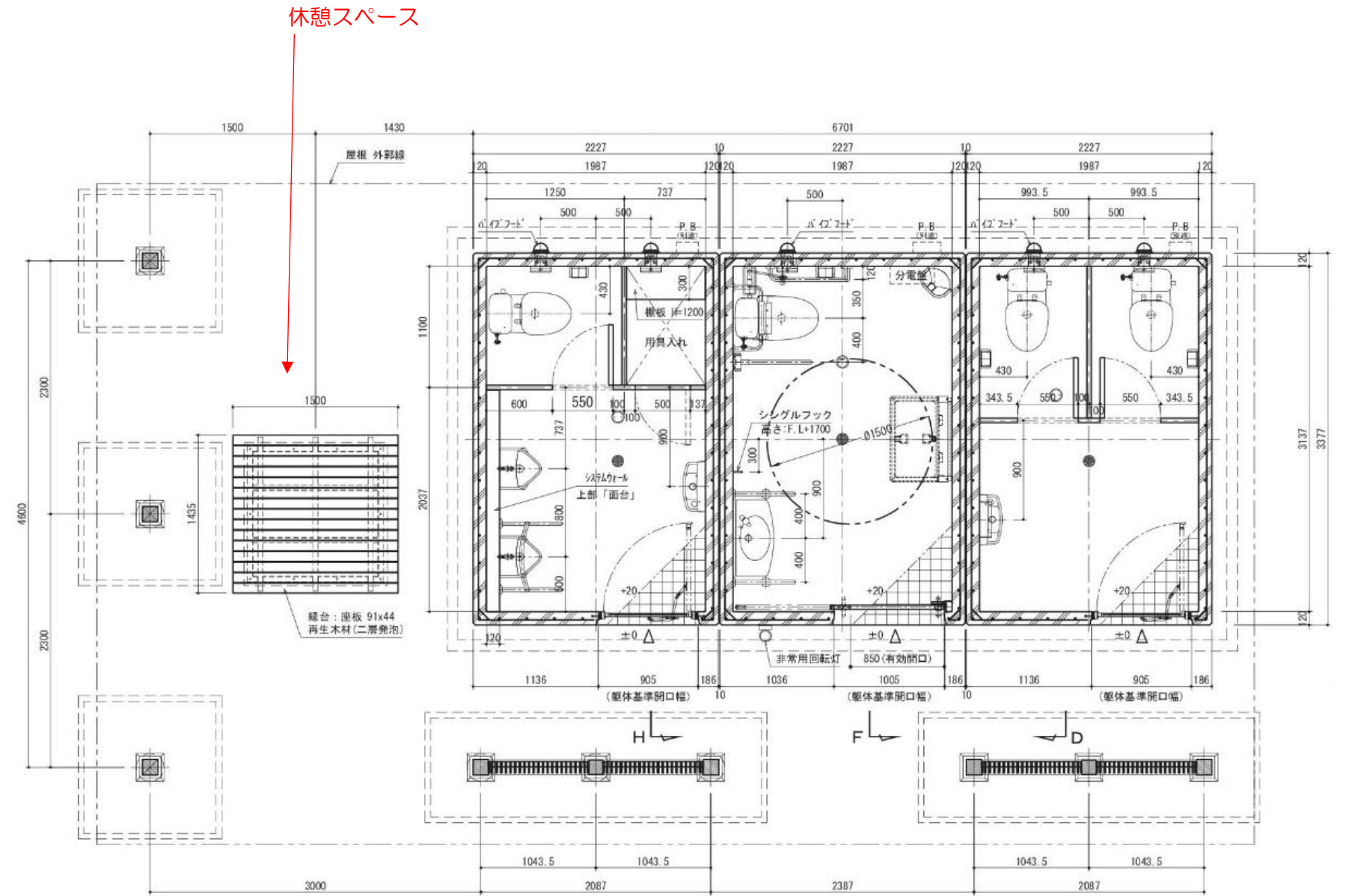
[基本計画平面図 S=1:100]



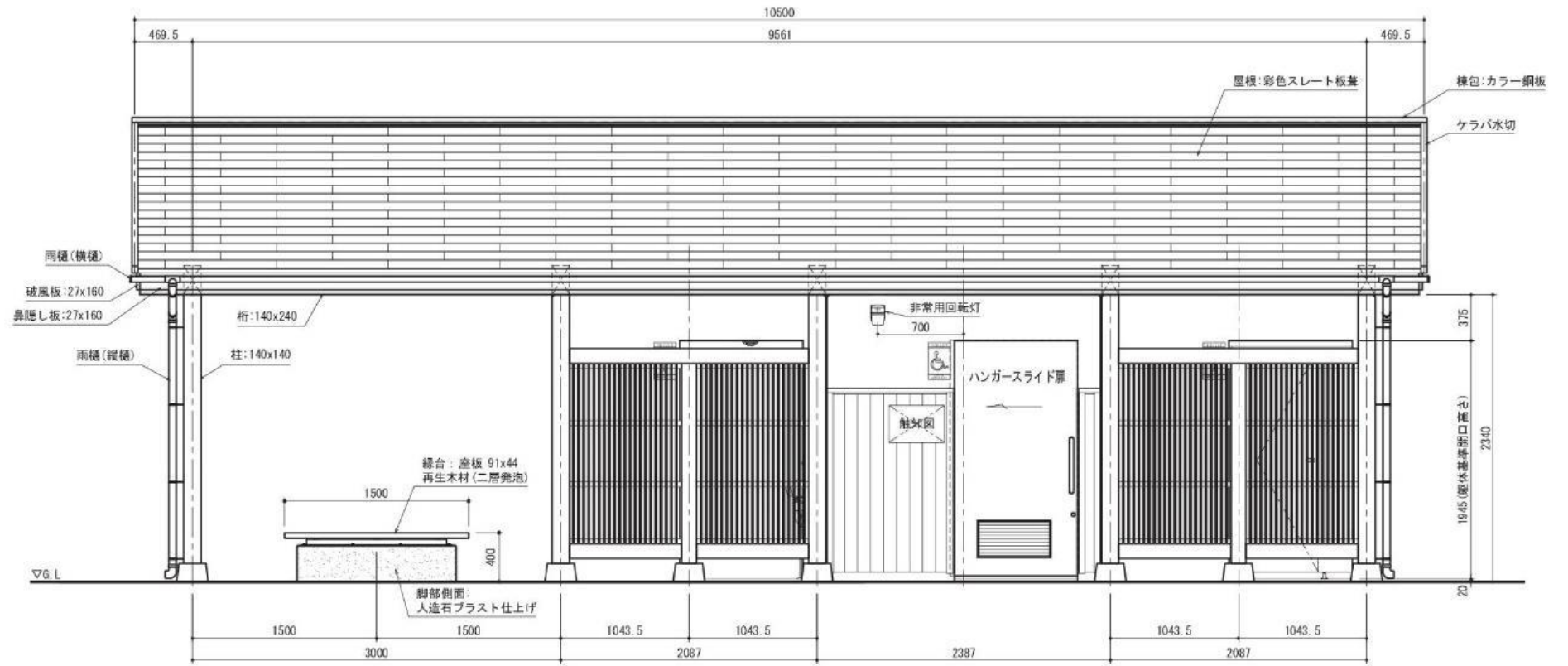
#### 休憩スペース

- トイレの待合や休憩、雨宿り等に利用できるスペース

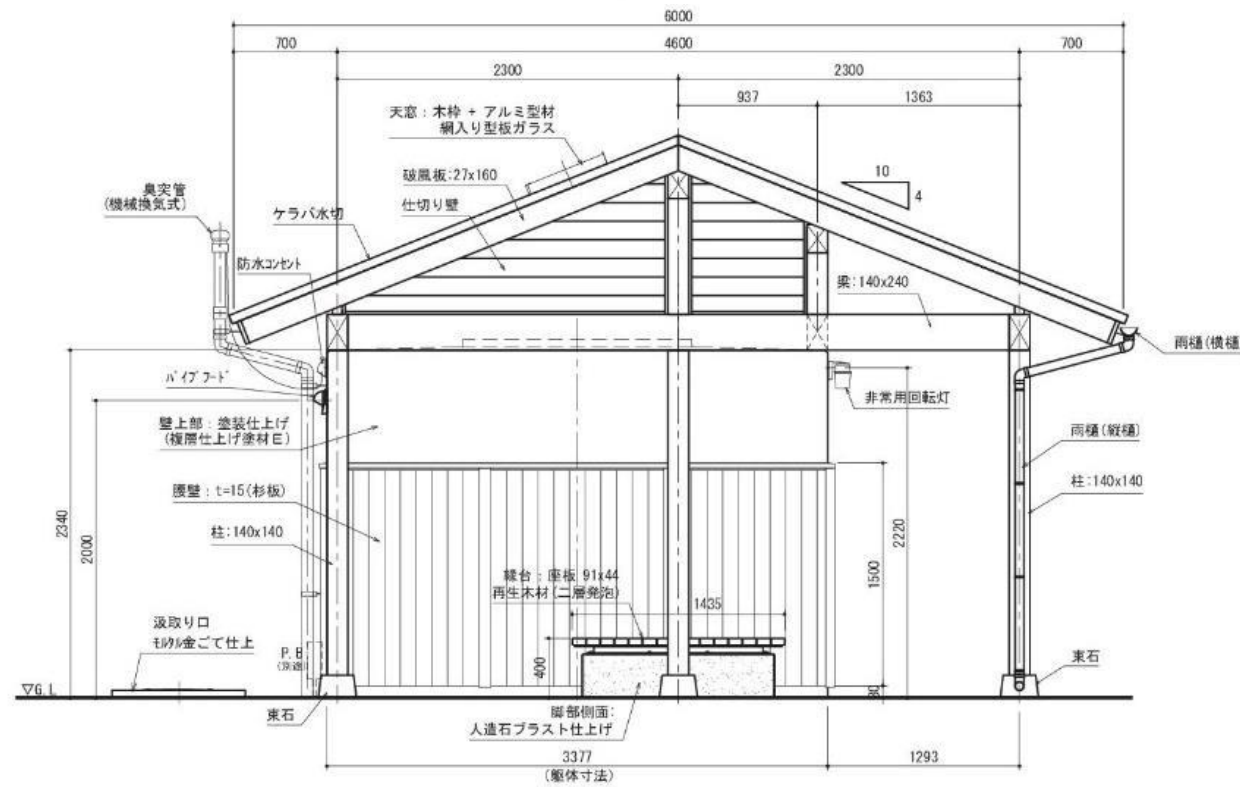
### 2) トイレ棟実施設計図



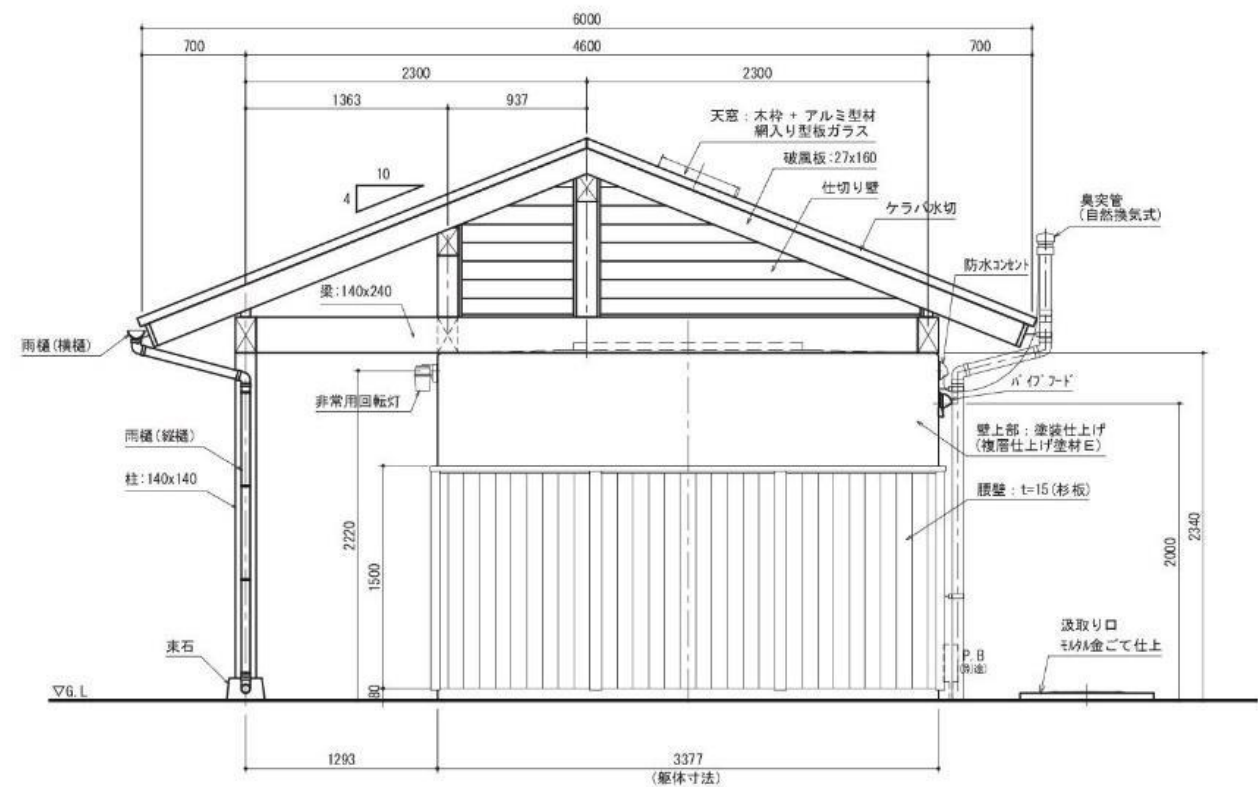
[平面図 S=1:50]



[正面図 S=1:50]



[左側面図 S=1:50]



[右側面図 S=1:50]

[トイレ棟外構計画平面図 S=1:250]

